

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経済学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的 に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 多様な入試形態の学生の質的向上を促進する（入試形態別、指定・提携・継続・協定校別の入学後の追跡調査の精緻化、調査分析結果の受け入れ人員枠設定への反映等による、意欲的な学生の受け入れ促進）。	→指定・提携・継続・協定校に対する高校別追跡調査の実施（現行の入試形態別から、高校別に学業成績や他の活動等での活躍状況を追跡調査し、その後の学生の受け入れなどへ反映）。	A
2. プレゼンテーション審査を重視したAO入試制度を導入する（2010年度入試より導入）。	→AO入試のスポーツ実績以外の学生の割合（スポーツ以外のカテゴリーの学生の受け入れ50%以上の維持）。	A
3. 学生によるジョイント・ディグリー制度の利用を促進する。	→ジョイント・ディグリー制度を活用する学生数（5年以内に年間10名以上）。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(方針) アドミッションポリシーに沿った多様な入試の見直し (現状説明) アドミッションポリシー：「本学の理念・教育目的は、『広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、キリスト教主義教育に基づいて人格を陶冶すること』（大学学則）であり、“Mastery for Service（奉仕のための練達）”というスクールモットーによって象徴されている。経済学部では、本学のこの理念を基礎に、学生が「何を、いかに、何のために学ぶのか」と自ら問いを発し努力するような人物を育成すべく、様々な適性をもった学生を幅広く受け入れることを入学者受け入れの方針としている。」
☆ 小項目5.0.2	(現状説明) 2. AO入試の見直しにより、2010年度入試よりプレゼンテーション審査による区分（出願資格A）を設けて多様な学生を受け入れその趣旨（受け入れ方針）を入試ガイド等に表記した。その結果、実績や経験によるものを2010年度では入学者24名のうち、スポーツ実績以外の学生は13名（比率54%）であり、その中には生徒会活動やボランティアの取り組み、資格取得などが含まれている。 3. 2009年度はジョイント・ディグリー制度を活用する受け入れ学生数は1名と少なかったが、2010年度へ向けては2名と徐々に増えている。
☆ 小項目5.0.3	(現状説明) 2009年度の入学者数（733名）が入学定員をおおきく超えたため、収容定員を考慮し（収容定員比率は2009年度1.11倍から1.07倍となる）、2010年度入試における合格者数を絞った。

★ 小項目5.0.4	(現状説明) 1. 適切な定員を確保し、確実かつ期待される入学者を確保するための、推薦入学制度の見直しへ向けて検討を開始している。まずは、「指定・提携・継続・協定校」に対する高校別追跡調査の実施を行っており、高校別に学業成績や他の活動等での活躍状況を追跡調査し、その後の学生の受け入れなどへ反映している。
★ その他	

《特定6項目データ》

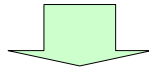
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【経済学部】		単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	%	61.8%	59.6%	56.0%	58.7%	50.2%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
表	入試形態別入学者数		→	→	→	→	→	大学基礎データ表15参照
表	学部の社会人・留学生・帰国生徒数		→	→	→	→	→	大学基礎データ表16参照
指標2	志願者総数	人	7,530	7,580	7,472	7,729	7,205	
指標3	志願者倍率	倍	11.6	11.7	11.0	11.4	10.6	志願者÷入学定員
指標4	入学者に占める近畿圏出身者の比率	%	—	—	—	—	—	近畿圏出身入学者数÷入学者数 (注)出身は出身高校の地域による

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



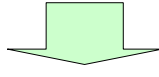
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	ジョイント・ディグリー制度を周知させるための広報。
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	ジョイント・ディグリー制度の活用促進に向けた告知機会・内容（どのように役立つか、卒業生がどのような分野で活躍しているか等）の充実をはかる。
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	ジョイント・ディグリー制度の活用促進に向けては、学部独自での取り組みに加えて、他学部との連携が必要である。
-----------------	---

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○一般入試入学者比率が50.2%まで低下しているが、何かそれによる影響はありますか。むしろ逆に入試形態の多様化を推進されているように見えていますが、それは追跡調査の結果等によるものでしょうか。このあたりの施策推進の根拠についての説明が求められます。

【学内委員】

○学生の受け入れについて、真摯な取組が評価できます。

○数字を上げてA評価としているので、具体的にどの部分が効果が上がっているのかを記述するべきでしょう。

○大学基準協会の「評価に際し留意すべき事項」(ハンドブックP78～)において、水準評価として数値による評価がなされるものに注意してください。「4. 学生の受け入れ ③学部における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である」「同、④学部における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である」については、それぞれ助言や勧告の対象値が示されています。絶えず確認し遺漏のないようにお願いします。

○次年度は、現状説明の内容を(方針)にお書きください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆ 具体的な効果が上がっている事項(5.0.2)として、プレゼンテーションを重視したAO入試への変更により、スポーツに特化しない、高校生活の総合的な活躍を判断材料とすることができたこと、またそれにより、入学後も学生生活やゼミ活動などでイニシアチブをとれる学生を受け入れることに成功していることがあげられる。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

5.0.0.S1	学生の多様性の確保ー入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部の募集人員のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在学学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学者数

<個別的な指標>

--	--